

中病だより



自衛隊中央病院
総務部総務課発行
令和8年
第1号

年頭の辞



明けましておめでとうござい
す。皆様におかれましては、穏や
かな新年を迎えられたことと存じ
ます。旧年中は自衛隊中央病院に
多大なるご厚情を賜り、心より感
謝申し上げます。

令和7年11月、当院は無事に
創立70周年を迎えることができま
した。自衛隊中央病院が与えられ
た任務を確実に遂行し国民の期待
に応えるため、歴代病院長をはじめ
めとする諸先輩方のご尽力に改め
て敬意と感謝を表しますとともに、
これまでに賜りました地域の皆様
の深いご理解とご支援に重ねて感
謝申し上げます。

令和8年は、戦略3文書制定か
ら4年目となり、「衛生機能の変
革」を着実に実行する極めて重要
な年です。当院は、各種事態発生
時における自衛隊の「最終後送病
院」および衛生科隊員の「人材育
成拠点」として、専門診療と救急
診療のさらなる充実を図ってまい
ります。

専門診療においては、新たに導
入した各種医療機器を活用し、各
分野で標準および先進治療に取り
組んでいくとともに、救急診療に
おいては従来の一・二次救急に加
え、救命救急センター指定を目指
した、より重症度の高い患者の診
療態勢も強化し、質の高い医療を
提供できる信頼される医療機関を
目指してまいります。

事態対応においては、自治体を
はじめとする各種関係機関や医師
会等との連携を深め、各種訓練を
継続して実施し、当院の対処能力
向上に努め、地域の皆様の安全・
安心に貢献したいと考えておりま
す。

また、本年4月からは自衛隊員
に対する准看護師教育を開始する
とともに、防衛省・自衛隊におけ
る血小板温存低力価O型全血液の
確保に向けた各種事業も進めてま
います。

本年は、午（うま）年にちなみ、
馬が力強く駆け抜けるように、職
員一丸となって更なる成長と発展
を目指し前進して、「信頼され魅
力ある自衛隊中央病院」を創造し
ていく所存です。引き続きご支援
ご協力を賜りますようお願い申し
上げます。

生が一丸となって学業に励み、
その努力が実を結び、国家試験
において全員合格を果たし、こ
れにより5年連続で全員合格と
いう成果を達成することができ
ました。学生一人ひとりが高い
志を持って学業に専心し、不断
の努力を積み重ねてきた結果で
あり、所長としてこの上ない喜
びと誇りを感じております。同時に、
日頃から熱意をもって教育・指導に当
たっている教職員の尽力、ならびに実
習・教育の場を支えてくださった
関係各所の皆様のご支援の賜物である
と、深く感謝申し上げます。

令和八年一月吉日

自衛隊中央病院長
防衛技官 鈴木 智史



年頭の辞



副院長（海）
均 小川

新年あけましておめでとうございま
す。平素より、自衛隊中央病院診療放
射線技師養成所の教育・運営に対し、
関係各位の深いご理解と温かいご支
援を賜り、養成所長として心より御礼申
し上げます。
昨年を顧みますと、当養成所にとっ
て意義深い一年となりました。第60期

我が国を取り巻く安全保障環境が厳
しさを増す中、自衛隊医療における診
療放射線技師に求められる役割も、平
時の診療支援のみならず災害派遣や各
種任務において重要性を増しておりま
す。当養成所は、今後も確かな専門性
と高い使命感を備えた人材の育成に努
め、国民の安心・安全を支える自衛隊
医療の一翼を担ってまいります。
結び、本年が関係するすべての皆
様にとりまして、健やかで実り多き一
年となりますことを祈念するとともに
に、引き続き当養成所への変わらぬご
支援をお願い申し上げます。

着任の辞



副院長(空) 空将 加藤 圭

令和7年12月16日付で自衛隊中央病院副院長兼ねて企画室長を拝命しました、空将 加藤圭です。よろしくお願ひ申し上げます。前職の自衛隊入間病院長の際には、自衛隊入間病院では対応できない高度かつ専門的検査や治療が必要な患者様を自衛隊中央病院に紹介させていただくとともに、各種事態対処時の患者後送や感染症対応、医療安全等にかかる貴重なご意見やご助言をいただき、感謝申し上げます。また、前職時には自衛隊中央病院の病理課に兼務させていただくことで、様々な症例の病理診断に関わることができ、大変勉強になりました。これまで、自衛隊中央病院とはこのようなご縁があったのですが、今回、勤務は初めてとなります。昨年は70周年を迎え、歴史ある自衛隊中央病院の一員となりましたことを大変光栄に、うれしく思っています。さて、自衛隊中央病院は、職域病院として隊員の壮健性維持に寄与するとともに衛生科隊員の人材育成拠点であり、また、救急医療も担う地域から期待される保険医療機関であり、さらに事態対処時の最終後送病院として重要な役割を担っています。加えて、昨今の国際情勢や災害に対す

る即応態勢を確保するとともに新型コロナウイルス感染症対応や現在進行中の血液確保事業、看護護学院新設といった新たな課題に挑戦し続け、自衛隊衛生を牽引していくことが求められています。鈴木病院長の統率方針に基づき、より信頼される、そしてより魅力ある自衛隊中央病院を創造するため、病院長を核心に病院職員が一丸となり、隊員、家族、国民のために誇りをもつて日々活躍できるように、私自身、しっかりと汗を流していきたい、その決意をもって着任をしました。着任1週間後の院内点検・院外点検及び年末行事を経て、病院職員の皆さんがいきいきと活躍している姿を見て、大変頼もしく思うとともに、あらためて重責を痛感し身の引き締まる思いであります。院務運営に邁進する所存でありますので、重ねてよろしくお願ひ申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。丙午は激動の年と言われますが、早々にトランプ米大統領が南米ベネズエラを攻撃しマドゥロ大統領を拘束したというニュースが流れました。地球の反対側での出来事ではありますが、不安な幕開けを感じました。中国は台湾周辺での大規模軍事演習を繰り返し、北朝鮮も弾道ミサイルの発射を継続しています。令和8年はどのような年になるのでしょうか。

年頭の辞



総務部長 防衛事務官 鈴木 伸

どうあれ、衛生機能の変革を進めるため、自衛隊中央病院が自衛隊衛生の中核として能力を高める必要に変わりはなく、病院が一丸となり衛生機能の強化にかかる各種の取り組みを推進するため、各部署との連携を密に業務に邁進してまいります。

本年も引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



年頭の辞



最前任 上級曹長 准陸尉 池田 忍

皆様におかれましては、穏やかな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は中央病院の准曹士に対する、暖かいご指導ご鞭撻をいただき誠にありがとうございました。また、私自身も多くの方に支えていただき、充実した一年を過ごすことが出来ましたことに、重ねて感謝申し上げます。現在、中央病院は「自衛隊衛生の人材育成拠点」として、衛生機能強化に係る取り組みを推進しています。令和8年3月には中央病院に看護護学院が新たに設置され、4月から教育が開始されるほか、DCS機能強化や血液製剤等の確保・備蓄の取り組みも行っていきます。これらの事業を推進するためにも重要な役割を担っており、隊員一人ひとりが自己の職務に誠実に向き合い業務を実施しています。今後これまで以上に准曹への期待値は大きく、また責任も重くなっていくものと思っております。これらの役割を果たしていくには、さらに各部署間が相互に連携・協力し合い、互いの強みを生かして業務を実施する事が必要不可欠となります。隊員間の「情報共有」、「コミュニケーション」及び「信頼関係」は業務を推進する上で、とても重要な事だと思っております。

本年も引き続き、准曹が中病職員としての自覚と誇りを持ち任務に邁進できるよう、最先任上級曹長として指揮官企図の徹底及び准曹の育成に全力で取り組む所存です。

新しい一年が、皆様にとって健康で実りある年となりますよう、心よりお祈り申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

診療放射線技師養成所 卒業研究発表

診療放射線技師養成所（所長 小川海将）は令和7年10月28日（火）、第50回卒業研究発表会を実施した。



今年の実施要領を大きく見直し、「卒業研究として既出論文をまとめ、その内容を抄読会形式で発表する」という新たな形式を採用した。本取り組みは、研究及び学術発表の基礎を体系的に修得することを目的としており、選定論文テーマを放射線に関連する内容として、学生一人ひとりが主体的に研究に取り組む機会となった。

発表では研究の背景や考察を完結にまとめ、質疑応答においても的確な回答が多く見られた。



第61期生17名は、これまで放養所で培ってきた専門知識を十分に発揮し、三年間の学修の集大成として意義ある発表会となった。

自衛隊中央病院 創立70周年記念行事

令和7年11月1日、自衛隊中央病院創立70周年記念行事を行った。記念行事では感謝状贈呈、記念式典、祝賀会食及び中央病院70年の歴史パネル等展示を行い70周年という節目にあたり病院職員、部内外から近傍部隊長等、歴代病院長を含む協力会の方や関係医師会等多数のご参列をいただき盛大に開催した。

特に駐屯地体育館で実施された記念式典において病院長は自衛隊中央病院70年の歴史を振り返りかえるとともに「衛生機能の変革」を着実に実行し国民の安全・安心を守る自衛隊の任務遂行を支える病院、すなわち自衛隊の「最終後送病院」及び「人材育成拠点」として中央病院職員が一丸となって国民の期待に応えていくと式辞を述べた。



感染症患者受入訓練

令和7年11月12日（水）及び22日（土）、令和7年度感染症患者受入訓練を実施した。

今年度は、東京都保健医療局が計画・実施する「一類感染症患者対応訓練」の枠組みの中での訓練ということもあり、東京都の他、世田谷保健所、東京消防庁、全国霊柩自動車協会及びペストコントロール協会と多数の関係部外機関が参加する訓練となった。



訓練は2部構成で実施され、第1部の訓練はエボラウイルス熱発生時における医療情報の伝達訓練を当院の他、東京都保健医療局、東京消防庁、世田谷保健所が参加し実施した。本訓練は、患者の発生から第1種感染症指定医療機関への受入調整及び患者搬送の調整について、各機関との調整要領について訓練を通じ知見を深めることができた。また、エボラウイルス熱の受入調整に合わせて院内対策会議を実施し、一類感染症患者の受入決心に資する幕僚活動について演練して実際に事態が生じた際、何を病院長に報告し、何を職員に徹底しなければならぬかについて、各部署等に思案させる等、意義のあるものとなった。



第2部の訓練は東京消防庁と世田谷保健所との連携による、患者宅からの収容及び病院への搬送から訓練を開始し、病院は消防救急車からの患者の引継ぎ、受入れ及び診療・看護等及び患者死亡後の家族対応及び霊柩自動車協会への患者の受渡しまでの一連の行動について演練した。

訓練部隊は事前訓練として都統制の訓練リハール及び対特殊武器衛生隊との協同訓練を実施したこともあり、感染を広げないという緊張感の中、診療業務等を円滑に遂行し、感染症対処能力の維持・向上が図れた。

実動訓練においては、部内外関係機関から100名近く研修者を受入れ、当院に対する理解の促進及び信頼の獲得を図った。

また、訓練終了後に意見交換会を実施し、訓練成果を共有するとともに、有識者から様々な提言を頂いた。今後第1種感染症指定医療機関として新興・再興感染症に適切に対応できるよう努めていく所存である。



ウクライナ国防大臣 からの受章

令和8年1月14日、自衛隊中央病院においてウクライナ負傷兵のリハビリテーション等に貢献した中病の現職及びOB職員8名に対して、ウクライナ駐日大使から「ウクライナの防衛支援に関する勲章」の伝達を受けた。

伝達式においてウクライナ駐日大使から「負傷兵支援に関わった自衛隊中央病院をはじめとする防衛省のみならず、ウクライナ政府を代表してお礼を申し上げます」との感謝の言葉を頂いた。



伝達式後の集合写真

自衛隊中央病院・三宿病院 合同慰霊祭

令和7年11月28日、国家公務員共済組合連合会三宿病院と合同で、医学の進歩のためにご身体を供してくださいました御霊に敬意と感謝の誠をささげるため、慰霊祭を開催した。

両病院職員の他、教育実習においてご献体の解剖に立ち会った、診療放射線技師養成所及び衛生学校臨床検査技師課程それぞれの学生も参列し、御霊にお礼の気持ちを込め献花をした。

ご遺族様代表者からは、「本当に感謝しています。慰霊祭を開催していただき、故人も安らかに眠る事ができるでしょう」とのお言葉を頂いた。



年末行事

令和7年12月23日、年末行事を実施した。

各部署による令和7年の目標に対する成果報告会及びダルマへの目入れを行い、引き続き会食を実施した。

成果報告会では、各部署所長が初めに設定した目標に対し、ユーモアを交えながら成果報告し、ダルマへ目入れを実施した。



年始行事

令和8年1月8日、年始行事を実施した。

各部署による令和8年の目標報告及びダルマへの目入れを行い、引き続き院長が年頭の辞を述べた。

目標発表では、各部署所長が目標に対し、ユーモアを交えながら報告し、ダルマへ目入れを実施した。



昇任者のご紹介（1月1日）

- 【1等陸佐へ】
（診療科） 高 榎 由美子
（臨床医学・教育研究部）
- （衛生資材部） 堀 田 隆 志
- 【2等陸佐へ】
（診療科） 小 岩 井 智 美
- 【3等陸佐へ】
（診療科） 相 原 智 紀
- （同） 倉 橋 利 佳
- （衛生資材部） 植 木 江 理
- （看護部） 西 岡 一 三



おめでとうございます！

- 【1等陸尉へ】
（診療科） 加 藤 雄 大
- （同） 鈴 木 圭 洗
- （同） 和 泉 圭 己
- （同） 西 本 浩 己
- （同） 石 橋 礼 己
- （同） 高 橋 徹 己
- （同） 山 本 由 起
- （同） 岡 口 圭 祐
- （同） 今 井 晋 平
- （同） 皆 良 裕 太
- （同） 富 田 佳 央
- （同） 麻 生 晴 理
- （同） 佐 倉 果 香
- （同） 鴨 志 田 伊 吹
- （同） 重 岡 千 夏
- （看護部） 今 井 晋 平
- （同） 岡 口 圭 祐
- （同） 山 本 由 起
- （同） 高 橋 徹 己
- （同） 石 橋 礼 己
- （同） 西 本 浩 己
- （同） 高 橋 徹 己
- （同） 山 本 由 起
- （同） 岡 口 圭 祐
- （同） 今 井 晋 平
- （同） 皆 良 裕 太
- （同） 富 田 佳 央
- （同） 麻 生 晴 理
- （同） 佐 倉 果 香
- （同） 鴨 志 田 伊 吹
- （同） 重 岡 千 夏
- （陸曹長へ） 平 野 亜 紀
- （総務部） 川 満 宏 樹
- （職業能力開発センター）
- 【1等陸曹へ】
（診療技術部） 須 藤 章 芳
- （診療科） 掛 村 和 也
- 【1等海曹へ】
（総務部） 田 中 英 暢
- （診療技術部） 須 藤 章 芳
- （診療科） 掛 村 和 也
- 【2等陸曹へ】
（診療科） 須 藤 健 洋
- （診療技術部） 阪 本 大 樹
- （同） 松 尾 勝 太 朗
- （診療放射線技師養成所） 中 村 亮 太
- 【3等陸曹へ】
（診療放射線技師養成所） 高 木 聖 奈
- （同） 小 山 大 雅

新着任部長紹介

○第5外科部長
1等陸佐 阿尾理一
(自衛隊札幌病院)
令和7年12月1日付

○副院長兼ねて企画室長
空将 加藤圭

○第3内科部長
1等陸佐 小寺力
(医療安全・感染対策室)

○医療安全評価官
1等陸佐 西川誠
(診療科)

○感染対策官
2等陸佐 阿部信次郎
(総務部)
令和7年12月16日付

新着任課長紹介

○総務部健康管理課長
2等陸佐 黒川敦志
(診療科)
令和7年12月16日付



退官者のご紹介

陸将 (副院長)
平山健一
令和7年12月16日付



(総務部)
1等陸尉 森和彦
令和7年11月10日付

1等海尉 前原伸一
令和7年12月12日付

3等陸尉 (診療技術部)
打田正洋
令和7年12月5日付

2等陸佐 (看護部)
宮川京子
令和7年11月16日付

3等陸佐
松田紀子
令和7年12月18日付

成績優秀者等

○第66期幹部特技課程
(看護師技術)
1等陸尉 伊藤 惇

○国民の自衛官
【団体受賞】
リハビリテーション科



壇上右から3番目 岡村2等陸佐
壇上右から2番目 小林1等陸曹

○全国イタリア料理コンクール
【準優勝】
非常勤 菊池優也



○令和7年度全自衛隊関東支部
バドミントン選手権大会

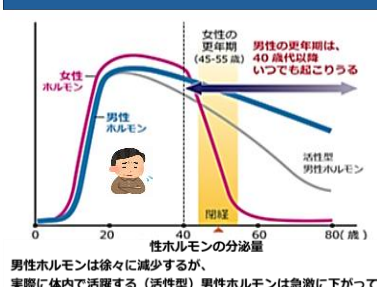
【男子40歳ダブルス準優勝】
2等陸佐 遠藤清一郎
【女子団体優勝】
3等陸尉 峰岸香織
2等陸曹 西巻冬妃

保健管理センター便り

【男性更年期障害とは】

病気ではないのに、中高年男性で「なんとなく不調」「突然のほてりや発汗」などが続けば、男性更年期障害のトラブルかもしれません。女性特有と思われるがちな更年期の症状は男性にもあり、「性ホルモン」の低下やバランスの乱れが原因とされています。女性の更年期障害は、女性ホルモン(エストロゲン)が急激に減少する閉経前後のおよそ10年間に起こり、閉経後は徐々に慣れて症状は治まっていきます。男性の場合、男性ホルモン(テストステロン)は一般的に中年以降、加齢とともに穏やかに減少します。

加齢と性ホルモン分泌の変化



【男性更年期対策】

男性更年期は、多くの場合生活習慣を改善することで症状がかなりよくなります。次のことを意識してみましょう。

①運動する。

筋トレをすると、テストステロンが増えることが分かっています。そのほかヨガ、温泉、楽しい会話などでリラックスすることもおすすめです。

②不足しがちな栄養素を摂る

テストステロンの生成と分泌に不可欠なビタミンDや亜鉛を意識してとるようにしましょう。ビタミンDは、魚・キノコ類、亜鉛は、カキ、赤身肉・いりごまなどに多く含まれています。



③ボランティア活動などに参加する

身近な場所で自分が評価されることでテストステロンが増えることが分かっています。



④休養する

ストレスが多いとテストステロンの分泌量が減少します。しっかりと休養しましょう。

【男性更年期との付き合い方】

テストステロンの減少は、認知症、サルコペニア(筋肉減少症)、メタボなどの生活習慣病に関係しているという研究結果が出ています。また、テストステロンの高い人の方が長寿という報告もあります。もし、男性更年期障害を自覚されたら、まずは生活習慣の改善を行ったり、漢方薬などが処方されることもあります。日本内分泌学会のホームページでは治療法等を参考にして上手に付き合ってください。

男性と女性の更年期障害の違い

	男性	女性
原因	男性ホルモンの低下	女性ホルモンの低下
時期	特に決まっていない(40歳代以降いつまでも)	閉経の前5年(50歳前後)
期間	終わりが無い	閉経後5年ほどで症状が落ち着く

記事担当 保健管理センター保健相談班
参考文献: きょうの健康 11月号 2025年 日本内分泌学会 男性更年期障害